

参 考 資 料 4

大学ポートレート運営会議（第24回）
令和8年2月24日

九州工業大学からみた 大学ポートレートの現状と、今後への期待



目次

- **国立大学法人九州工業大学のご紹介**
- 本学からみた大学ポートレートの現状
- 今後の大学ポートレートに期待すること

「技術に堪能なる士君子」の養成

唯単に技術者を拵えるのみの学校ではない。士君子『ジェントルマン』を養成する学校である。



九州工業大学の育ての親
山川 健次郎
1854-1931



九州工業大学の生みの親
安川 敬一郎
1849-1934

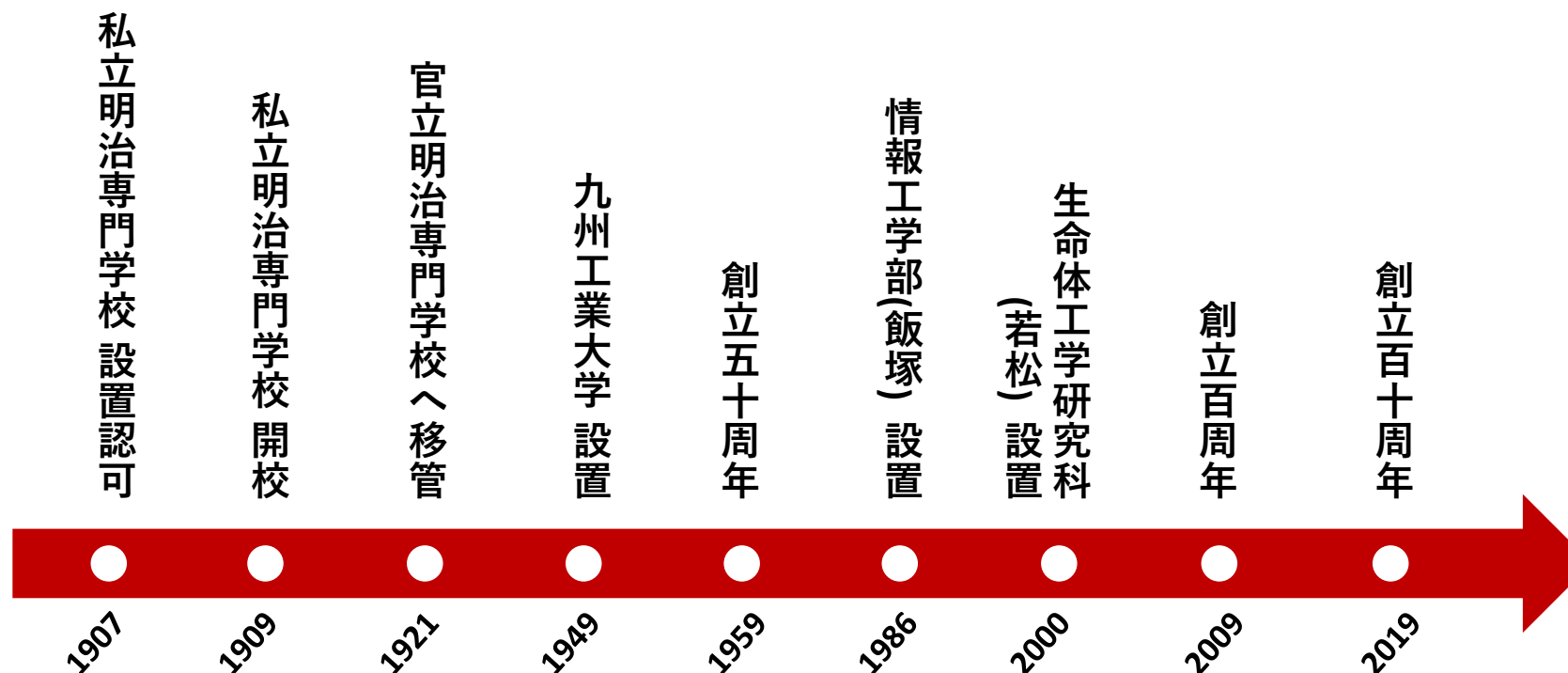


明治専門学校は、教育のために私財を投じた実業家 安川敬一郎の崇高な志と、それに賛同した当時東京帝国大学総長であった山川健次郎の多大なる尽力によって創建された。

財は吝むべからず。すべからく活用すべし。天恵を私せず、若者の教育により、国家に役立てたい。

沿革

2024年で創立115年



50th 記念講堂

100th 中村記念館

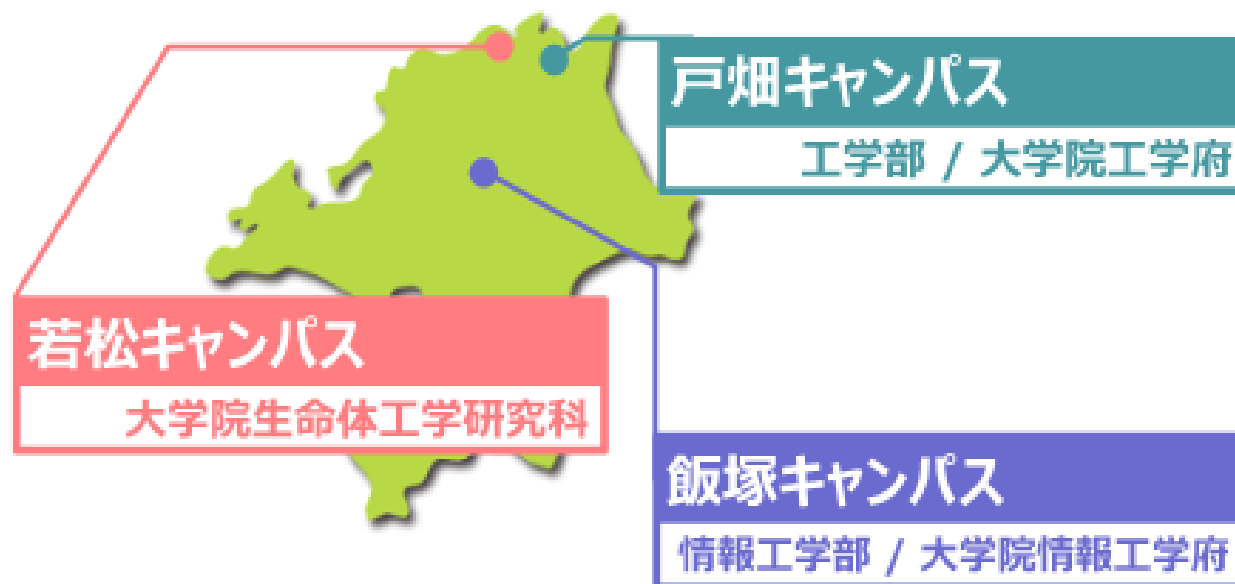
110th GYMLABO

●3キャンパスに2学部3大学院を設置

●学部生4,179人、大学院生1,649人の計5,828人の学生が在籍

※2025.5.1 現在

3キャンパス 2学部 3大学院



学 生 数

5,828名



学部生 4,179名 大学院生 1,649名

外国人留学生
割合
4.4

女子学生
割合
16.0

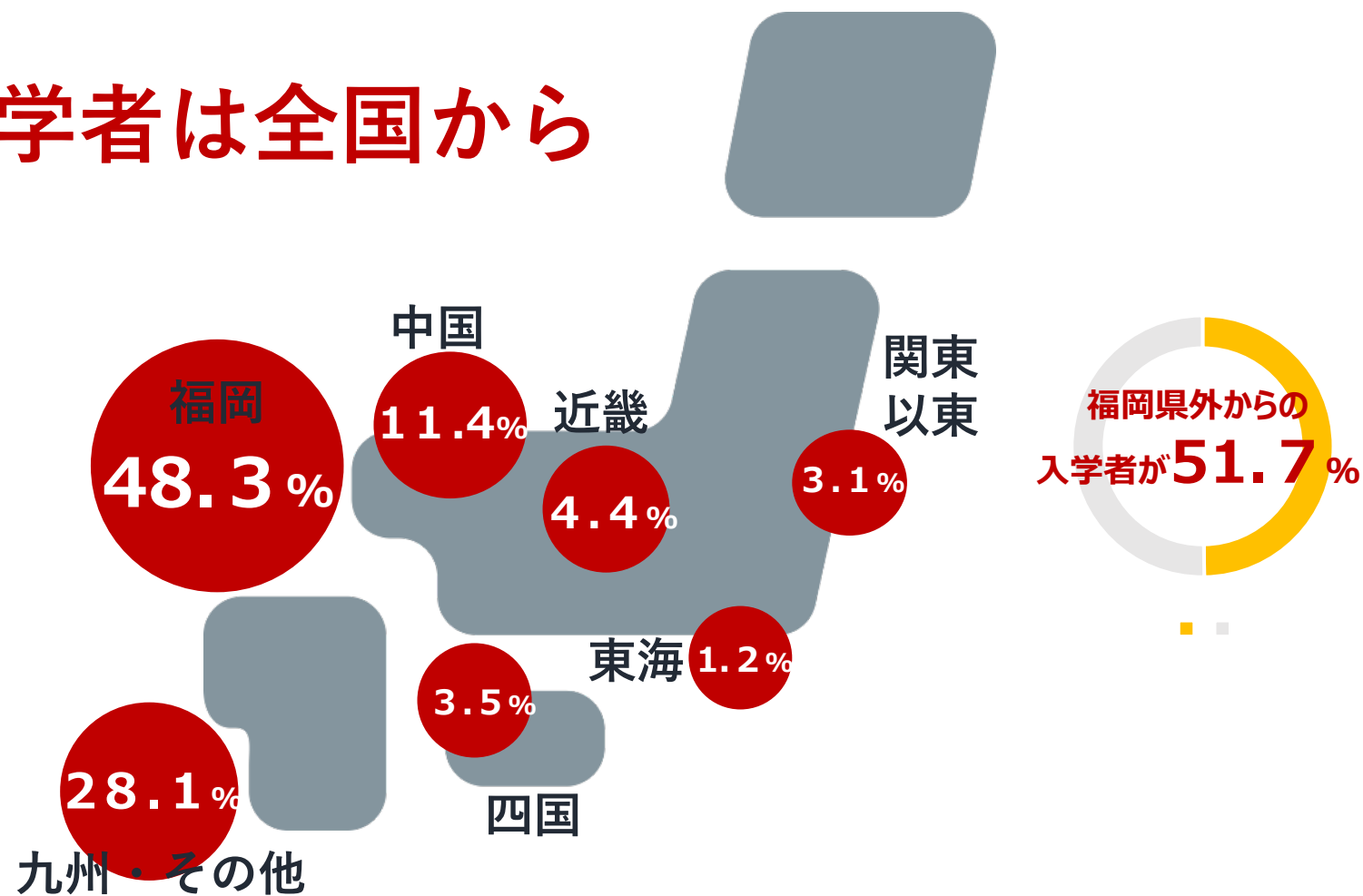
戸畑キャンパス
3,096名

飯塚キャンパス
2,331名

若松キャンパス
401名

地域別入学者数

入学者は全国から



※2025.4学部入学者985名（編入学を除く）

志願倍率

一般選抜

学部	入試区分	2022	2023	2024	2025
工学部	前期	2.27	2.08	2.53	2.41
	後期	5.60	6.05	5.80	6.02
情報工学部	前期	2.50	2.53	2.32	2.48
	後期	7.72	8.53	7.39	7.09

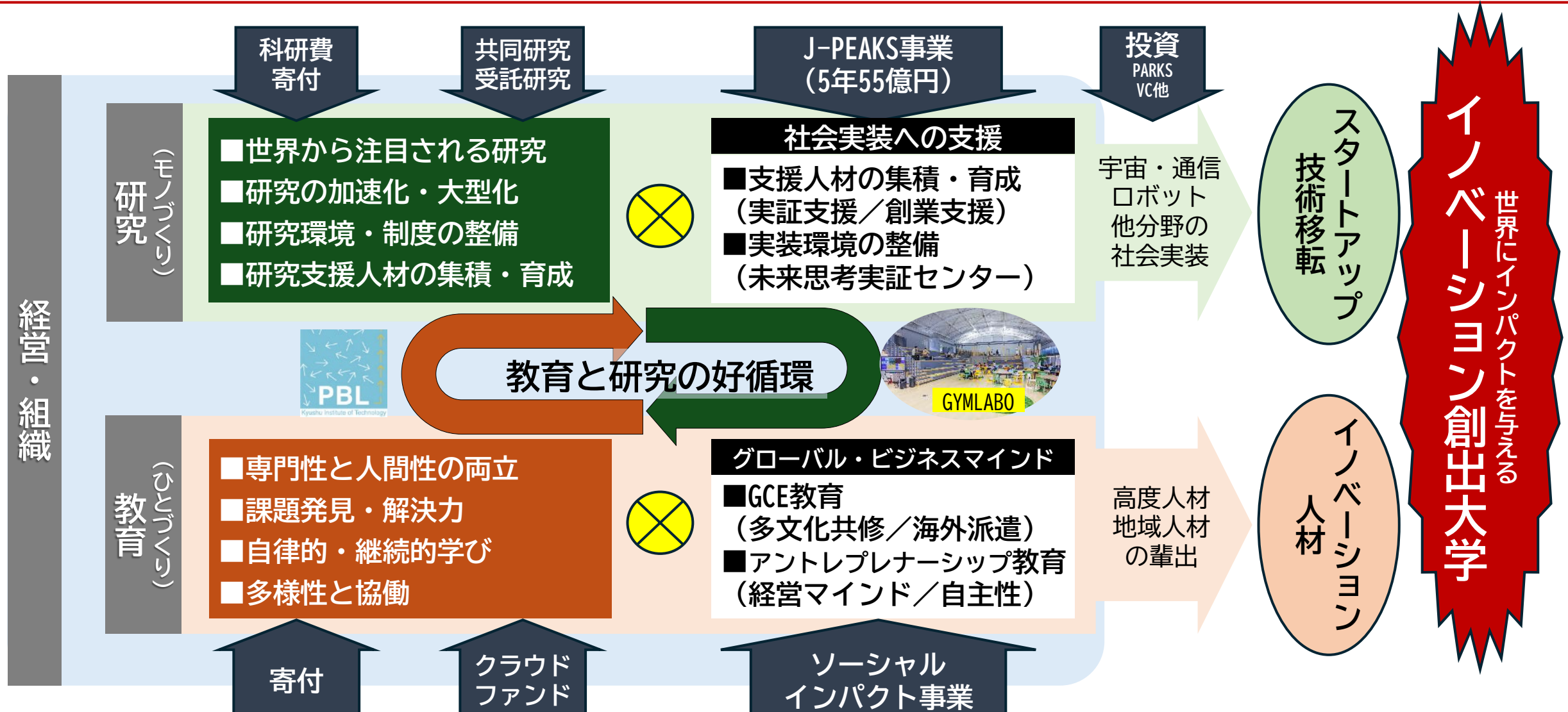
学校推薦型選抜

学部	入試区分	2022	2023	2024	2025
工学部	推薦Ⅰ	1.99	2.19	2.39	2.98
	推薦Ⅱ	3.42	3.62	2.95	4.76
情報工学部	推薦Ⅰ	2.88	2.95	2.55	3.11

九州工業大学ビジョン2040

stitute of Technology

未来を思考する「モノづくり」と「ひとづくり」を推し進め、最先端の技術と人材で世界にインパクトを与えるイノベーション創出大学となる (Impact the Next Industry)



目次

- 国立大学法人九州工業大学のご紹介
- **本学からみた大学ポートレートの現状**
- 今後の大学ポートレートに期待すること

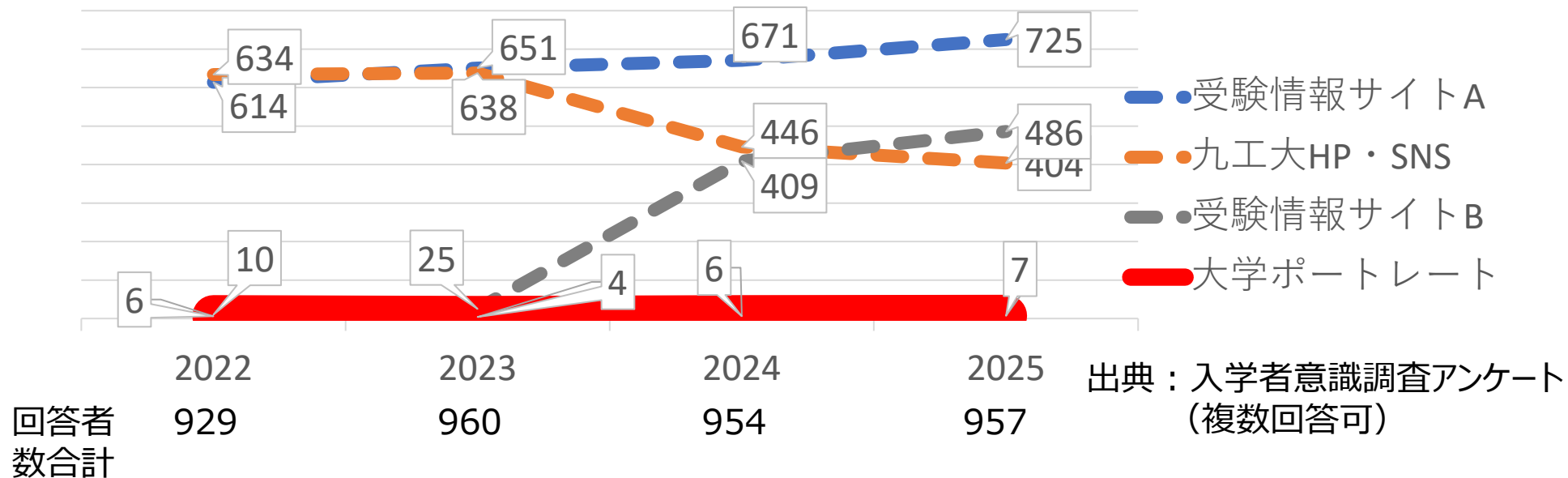
大学ポートレートの目的

大学ポートレートは、データベースを用いた大学の教育情報の公表・活用のための共通的な仕組みとして、次のことを目的としています。

- 大学の多様な教育活動の状況を、国内外の様々な者にわかりやすく発信することにより、大学のアカウンタビリティの強化、**進学希望者の適切な進路選択支援**、我が国の高等教育機関の国際的信頼性の向上を図る。
- 大学が自らの活動状況を把握・分析するために教育情報を活用することにより、**エビデンスに基づく学内のPDCAサイクルの強化**による大学教育の質的転換の加速、外部評価による質保証システムの強化を図る。
- 基礎的な情報について共通的な公表の仕組みを構築し、**各種調査等への対応に係る大学の負担を軽減すること**により、大学運営の効率性の向上を図る

「進学希望者の適切な進路選択支援」に対する現状

九州工業大学への入学者が受験に当たって参考にした情報誌やメディア



本学入学者へのアンケート結果では、**受験にあたって大学ポートレートを参考にした学生は少ない。**

「エビデンスに基づく学内のPDCAサイクルの強化」に対する現状

- 国公立大学情報活用サイトを入試、退学率等の分析に活用
- 大学ポートレートWeb-API機能の学内システムとの連携可能性

しかし、

- データソースが学校基本調査のみであるため、**分析の深掘りのためには追加データと組み合わせる必要**



「各種調査等への対応に係る大学の負担を軽減すること」に対する現状

本学にはデータなし。
しかし、ネットニュース等では
大学ポートレートを活用した
記事が散見されるようになっている。

新聞への掲載実績（「」内は記事の見出し）

2024 年 2 月 13 日 河北新報オンライン

「東北大入学者の出身、最多の宮城に迫る東京 都道府県別のデータをまとめました」

2024 年 4 月 25 日 朝日新聞デジタル

「東大の模試判定見た親「もう降参」 でも地方女子の挑戦には高い壁」

[大学ポートレート・大学情報基盤センター活動概要 2024](#)

2025
7/29

【2025年度最新版】留学生比率で見る日本の大学ランキング

大学パワーランキング © 7月 29, 2025 9月 29, 2025

POPCORN

【大学パワーランキング】

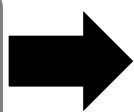
留学生比率で見る
日本の大学ランキング

2025年07月29日
ポップコーン株式会社

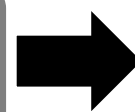
https://powerranking.jp/international-student-ratio/#index_id0

大学ポータルサイトにおける公表データ作成に係る学内フローの現状

NIAD-QE
からの作業依頼



学内用調査票
作成・各課依頼



回答様式
に転記

■ 高等教育の修学支援新制度の対象校		学生支援系部署
高等教育の修学支援新制度の対象校であることを表示する		1: する
■ 学納金の延納・分納の可否		
学納金の延納	授業料 入学金	
学納金の分納	学納金の延納(2019年度形式) 授業料 入学金	
	学納金の分納(2019年度形式)	0: 不可
■ 休学及び復学に係る費用		
基準日	20250501	
休学時納付金有無	0: なし	
休学時納付金	休学時納付金	~
	休学時納付金(2018年度形式)	
休学時納付金(復学時返還の有無)	0: なし	
休学時納付金(返還額)	休学時納付金(返還額)	~
	休学時納付金(返還額) (2018年度形式)	
費用に関する説明: 休学及び復学に係る費用		ただし、休学を許可され、又は命ぜられなければならない。
大学HPで確認する(URL)		https://www.tobata.kyutech.ac.jp/seo
■ 奨学金(受給資格、支給枠、支給金額)		
基準日	202505	
奨学金有無	0: なし	
大学HPで確認する(URL)		

学生支援系部署

教務系部署

学生支援系部署

担当部署を基準に
した様式を作成

名前	
【# # 課】21_実施している入試方法、障害のある入学志願者に対する。	
【# # 課】23_入学者の構成(入試方法別) .xlsx	
【# # 課】08_授業料、入学金、その他の徴収費用.xlsx	
【# # 課】09_学納金の延納・分納の可否.xlsx	
【# # 課】05_教育課程の特色(履修モデル、カリキュラムマップ等) .xlsx	
【# # 課】07_転学部・編入等の可否、費用負担.xlsx	
【# # 課】10_休学及び復学に係る費用.xlsx	
【# # 課】11_学部・研究科等の特色等.xlsx	
【# # 課】13_修学支援.xlsx	
【# # 課】14_学生寮の整備状況.xlsx	
【# # 課】17_課外活動(クラブ活動、ボランティア活動) .xlsx	
【# # 課】19_奨学金(受給資格、支給枠、支給金額) .xlsx	
【# # 課】20_授業料減免(減免資格、対象人数、減免額) .xlsx	
【# # 室】16_障害者支援.xlsx	

Excel調査票は学部・研究科毎に1ファイルとなっているが、データ入力担当部署が複数にまたがっているため、**学内用調査票を作成※し、取りまとめ後にNIAD-QE様式への転記を行っている。**

※Microsoft 365 SharePointを利用してNIAD-QE様式を直接共同編集する方式に変更することを検討中

目次

- 国立大学法人九州工業大学のご紹介
- 大学からみた大学ポートレートの現状
- **今後の大学ポートレートに期待すること**

今後の大学ポートレートへの期待①

■データベースとしての価値を向上させる

「大学ポートレートは、データベースを用いた大学の教育情報の公表・活用のための共通的な仕組み」とであるという特徴を推し進めて、**国公立大学情報活用サイトへの掲載情報の充実など**を図ってはどうか。

例：大学ポートレートWebサイトに掲載されている数値データや、
標準修業年限内卒業（修了）率など比較的に定義が変わりにくい指標 など

関連する大学ポートレートの目的

（2）大学が自らの活動状況を把握・分析するために教育情報を活用することにより、エビデンスに基づく学内のPDCAサイクルの強化による大学教育の質的転換の加速、外部評価による質保証システムの強化を図る。

今後の大学ポートレートへの期待②

■ 各種調査に係る大学の更なる負担軽減

現在でも大学基本情報（<https://portal.niad.ac.jp/ptrt/table.html>）としてデータの公表を行っているが、これを一歩進めて、国公立大学情報活用サイト（大学情報分析レポート）のような**可視化ツールを一般向けに公開すること**を検討してはどうか。

関連する大学ポートレートの目的

（3）基礎的な情報について共通的な公表の仕組みを構築し、各種調査等への対応に係る大学の負担を軽減することにより、大学運営の効率性の向上を図る

■ 大学ポートレートへの入力負担の軽減

Excel様式のアップロードだけでなく、**Web入力やCSV取り込みなど、入力方式の多様化**をしてはどうか。

ご清聴ありがとうございました。